

# ■ 玉田工業の紹介

社名	玉田工業株式会社
創業	1950年4月1日
日本の拠点	

事業内容	地下タンクの設計・製造のトータル プランニング業
売上高	2017年度：104.3億円(グループ合計)
SF二重殻 タンク販売 シェア※	2011年度 約74% 2012年度 約72% 2013年度 約80%



取扱商品

## SF二重殻タンク



## 防火水槽



## 飲料水貯水槽

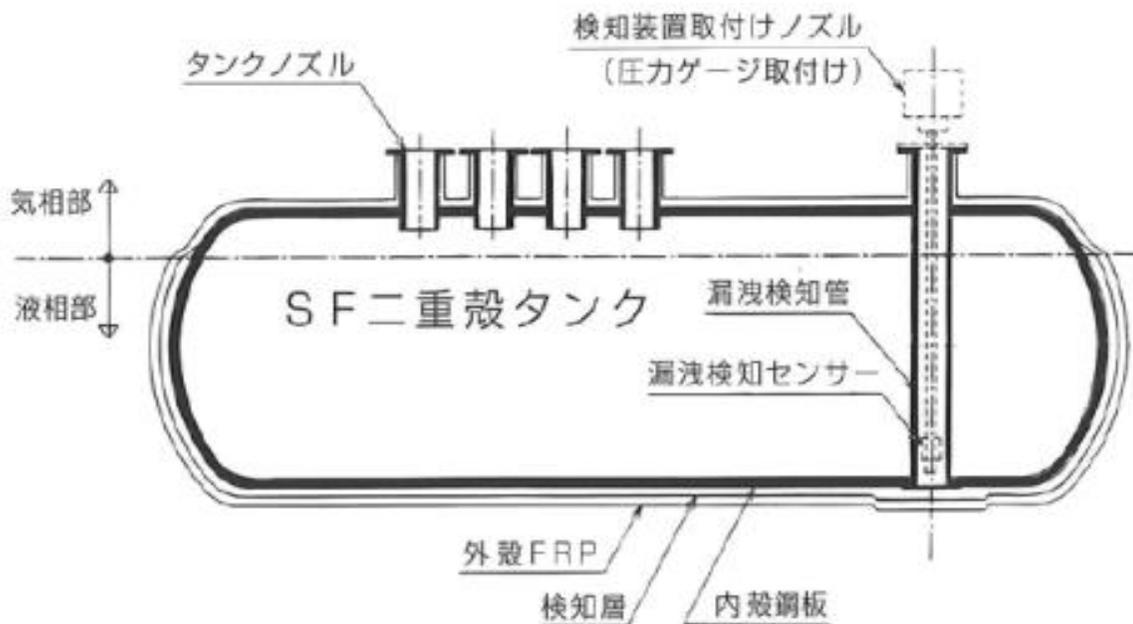


## ■ SF二重殻タンクとは

1993年7月30日に、鋼製強化プラスチック製二重殻タンク(通称:SF二重殻タンク)が日本の消防法令の中で規定化されました。

地下に埋設される鋼製のタンクに、タンクからの危険物の漏洩を検知するための装置として、外面に強化プラスチック(FRP)を用いて検知層を形成し、かつタンクを錆及び電気腐食から保護する地下タンクとして、安全性が確認されたものとなっております。

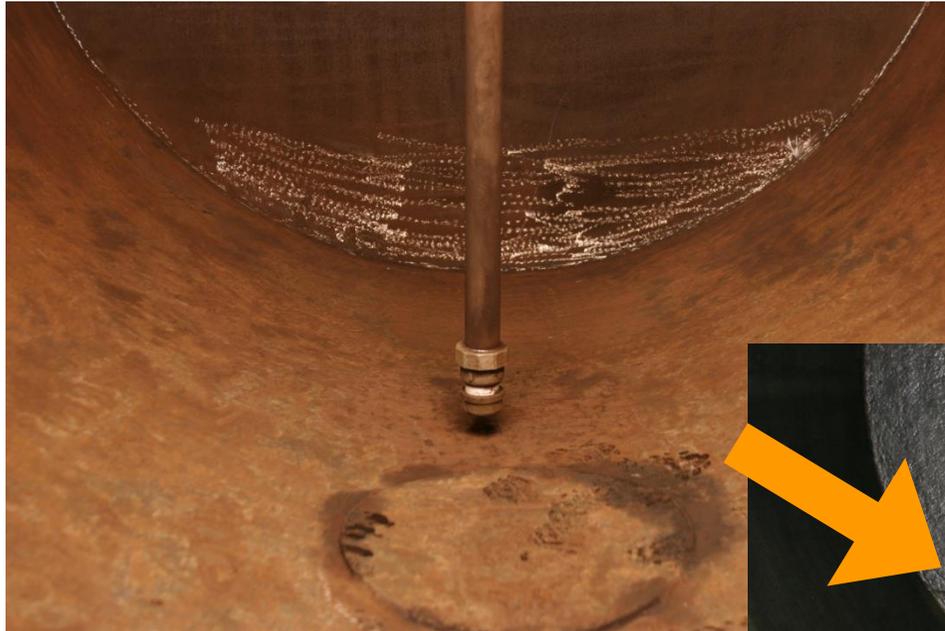
埋設終了まで圧力計を設置して圧力管理を行うことで、工事中の事故を瞬時に発見することができます。



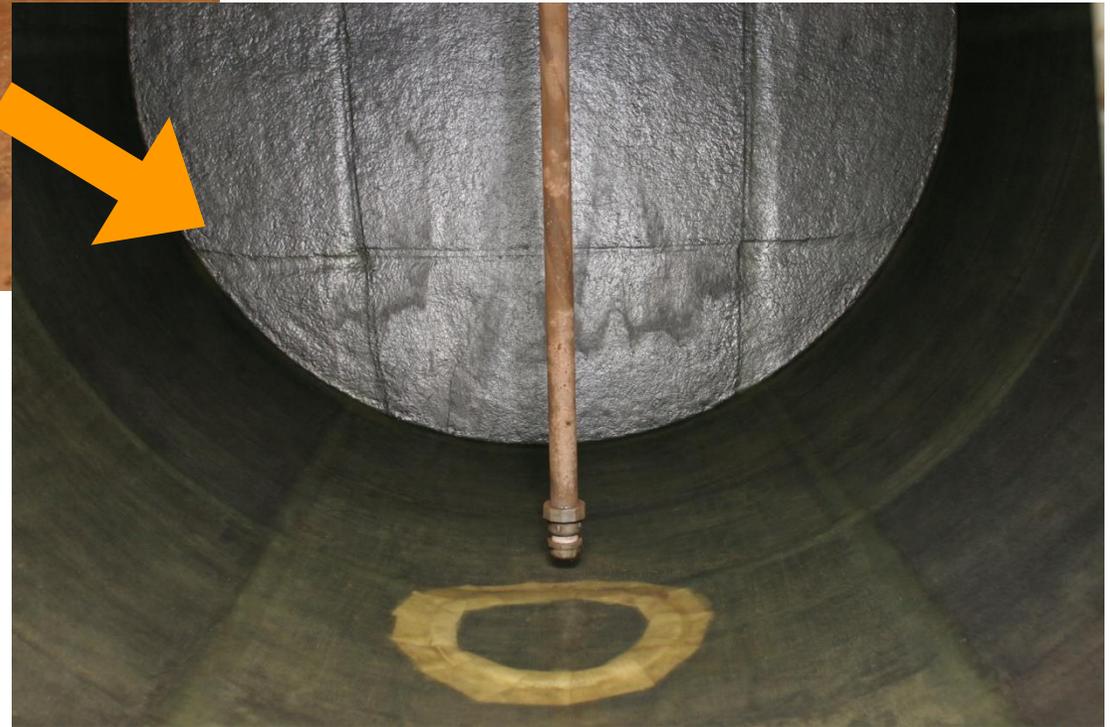
# ■ 福島原子力発電所向け 汚染水タンク



## ■ 老朽タンクの補修事業



30年～40年経過した、  
ガソリンスタンドの地下タンク

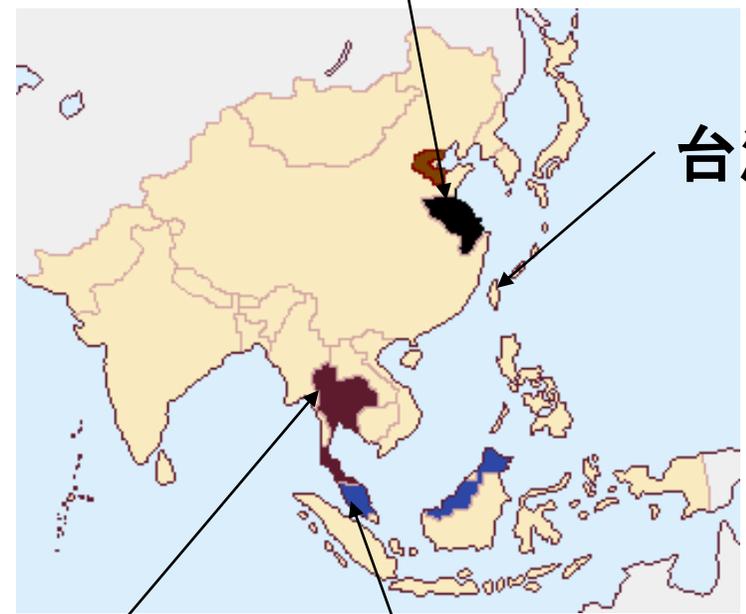


内面をFRPで保護し、  
延命処置を施す

# ■ 海外事業への取り組み (フランチャイズビジネス)

中国江蘇省・河北省

台湾



タイ

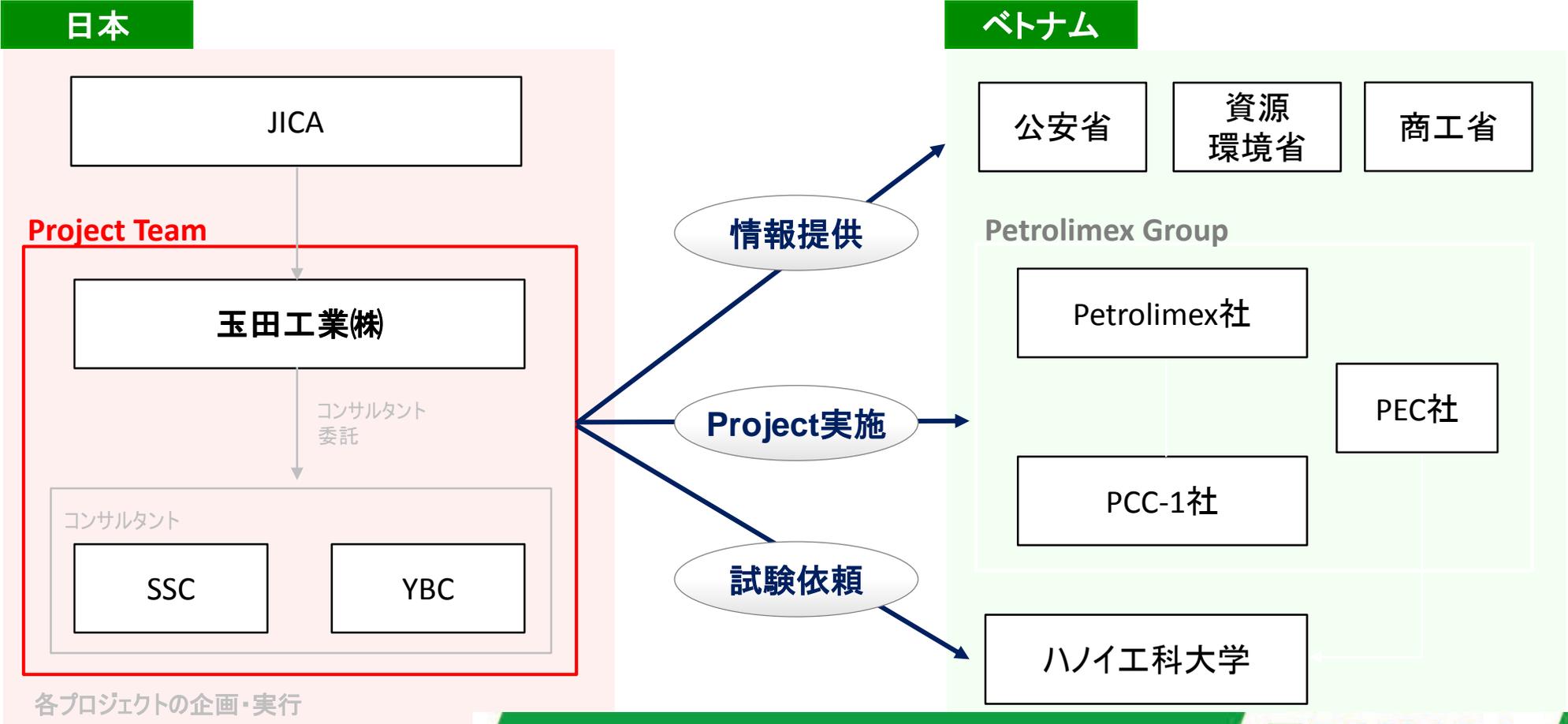
マレーシア



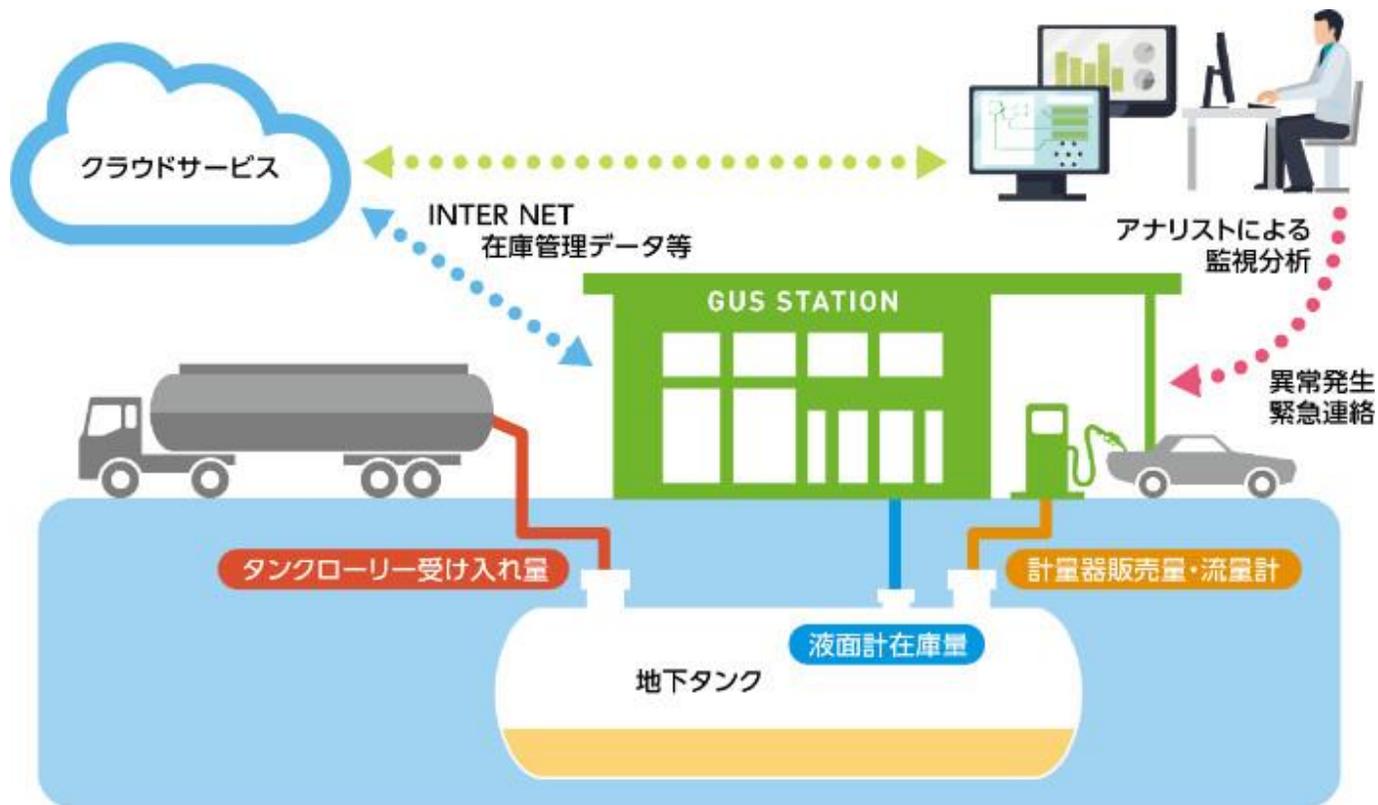
# ■ 普及実証事業（2013年8月～2014年12月）

- 本事業は、ベトナムにおける地下タンクからの油流出による土壌汚染・水質汚濁を抑止できる方法を実証・普及し、経済成長と環境保全の両立をはかることを目的として実施した。

■ 目的 SF二重殻タンクの実証・普及



# 新規事業 IOTによる地下タンク管理サービス事業



SSモニタリングシステムは、365日24時間タイムリーに危険物施設の早期漏えいを自動的に監視するシステムを自社にて開発。国産初のEPA、国内認証を取得



各店舗のタイムリーな情報も本社で一括管理が可能